

VOSS グループの企業方針 に対する経営者のコミットメント



社員各位

「VOSS グループの企業方針」では、企業方針の基本的な方向性について説明しています。これは、経営者として、および従業員としての私たちのコミットメントおよび行動の基礎となるものです。

企業方針の不可欠な要素は、品質、環境、エネルギー、労働安全に関するマネジメントシステムであり、継続的改善とリスクベースの思考の原則です。

マネジメントシステムの要件を組織の事業プロセスに組み入れるために、経営陣はプロセス志向のアプローチの使用を促進します。

さらに経営陣は、従業員が日々の意思決定や行動において会社方針を実行する権限を与え、従事することを約束します。

Dr. Thomas Röthig
CEO
VOSS Holding GmbH + Co. KG

VOSS は、スマートな流体管理ソリューションを提供する、グローバルで独立したシステムパートナーです。中規模の企業グループとして、VOSS Holding の傘下にて、自動車産業および産業用機械・設備のためのモジュールである、配管および接続システムを開発、生産しています。

VOSS Holding の単独株主は、ウィッパフルースやその他の地区で多くのプロジェクト、工場、施設をサポートしている Hans Hermann Voss Foundation です。Hans Hermann Voss の遺産として、VOSS Charter は会社の 4 つの基礎を、テクノロジーへの情熱、顧客への献身、人とのつながり、社会および環境に対する責任、と定義しています。したがってこれらの原則を守ることは、外部からの要求によるものだけでなく、常に我々の企業文化の一部として実践されてきています。

価値観の共通認識として、企業方針は、社内、および外部パートナーや公共との関係の中での振る舞いに関する基本的な原則の基礎となります。「倫理規定」などのコンプライアンス固有のフレームワークを実装することにより、私たちはそのためのルールを明確に、かつ透明に規定しました。このようにして、私たちは倫理的・法的責任をどのように果たすかを明確にします。法律、規制、その他の要件を順守することは、私たちにとって拘束力のある義務であるだけでなく、当然のことであり、持続可能なビジネスの基盤でもあります。

成長する企業として、資源を慎重に扱うことは特に重要です。革新的な技術と持続可能な管理システムのおかげで、私たちはここ数年の間に資源および

特定の廃棄物の量を世界中で減らすことができ、これらの価値を継続的に改善することに取り組んでいます。

VOSS にとって、CO₂ 排出量を減らすことは特に重要です。次の世代の存続を確保するために、私たちは気候変動の緩和に最善を尽くします。

私たちは生産をすべての工場でエネルギー効率のよいものにし、エネルギーの消費量を減らし、私たちの製品群で電気自動車や水素技術のような気候に優しい技術における成功に寄与することによって、一貫してこの責任を果たしています。私たちはグリーンエネルギーに取り組んでおり、2019 年から 2035 年にかけて世界の CO₂ 排出量スコープ 1+スコープ 2 を 60%削減することを目指しています。本社は 2022 年から CO₂ ニュートラルで運営されています。

私たちの成功は、最高の要件を持つお客様のための最高品質に対する私たちの要求を基礎としています。継続的な改善プロセスが信頼でき、要件志向の品質と、一貫して高い顧客満足度を可能にします。

お客様の要望を満たすために最も重要な構成要素は、私たちの従業員の高い献身と自己責任であり、私たちは的を絞った開発プログラムによってそれらを促進します。その際、私たちは自らを「学習する組織」と見なし、失敗を系統的に処理することは、共に解決策を探すことによる改善のための機会と考えています。

私たちは、複数の受賞歴のある雇用主として、家族のような雰囲気と焦点を当てており、強いチームとして助け合います。私たちの従業員に健康で安全な勤務環境を提供することは、私たちが共同で満たす要求です。